

大分市上下水道事業経営戦略の見直しについて

1. 見直しにあたっての考え方

【上下水道事業共通】

- ①人口減少や物価高騰が見込まれるが、将来にわたり安定した事業を継続的に行うための合理的な企業活動を推進していくと同時に、CO₂の削減など環境保全の社会的要請に対応していきます。
- ②今後、施設の老朽化が進み、更新費用が増大することが予測される中、より効率的で長期的な資産管理と財政計画を実施し、適正な企業債の発行と着実な残高の削減を行い、水道事業の経営基盤の強化、公共下水道事業の経営の健全化に努めていきます。
- ③過去に経験のない大規模な災害の恐れが高まるなか、社会インフラ機能維持のため施設の強靱化を進めることはもちろん、危機管理体制の強化など、ソフト面での備えについても進めていきます。
- ④経験豊富な職員の退職に伴い、組織内に蓄積されたノウハウが希薄になることから技術の継承をする必要があるため、組織内外を問わず積極的な人事交流や研修を行い、サービスの維持・向上に努めていきます。

【水道事業】

- ①老朽化の進む管路や設備を計画的に更新し、漏水や断水のリスクが軽減されるよう予防保全に努めていきます。
- ②令和5年4月1日からの水道料金の改定により、新規水需要の拡大につながるよう取り組むとともに、経営への影響についても注視していきます。

【公共下水道事業】

- ①効率的な整備を行い、さらなる普及率向上に努め、下水道使用料の増収による黒字化を目指していきます。
- ②各水資源再生センターの処理区の再編など、施設の効率的な運用に努めるとともに、ストックマネジメント計画に基づき、施設や設備の更新についても計画的に行っていきます。
- ③過去に大雨による浸水被害があった箇所など、災害発生の可能性が高い地域については、雨水排水ポンプ場整備などの対策を講じるとともに、内水ハザードマップを作成するなどし、住民への周知を行っていきます。